

科目名	まつり実践実習 I	科目分類	<input checked="" type="checkbox"/> 専門科目群 (第1グループ) <input type="checkbox"/> 総合科目群 (第2グループ)	
			国際観光学科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
英文表記	Practice and Training of Festival I	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年	
ふりがな	いのうえ ひろし	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中	
担当者名	井上 寛	修得単位	2単位	
授業のテーマ	竿燈まつりとその伝統を理解する			
到達目標	1. 竿燈まつりに出場できる技術を身につけることができる。 2. 伝統文化を守り続ける重要性を理解できるようになる。			
授業概要	国指定重要無形民俗文化財に指定されている「竿燈」の歴史を学び、差し手、囃子(笛・太鼓)、かけ声を練習し、技をみがいたうえで、8月3日～6日の竿燈まつりに出場します。			
授業計画				
第1回	オリエンテーション／竿燈まつりの歴史と概要	第17回	竿燈まつりの公式練習1(短大体育館前)	
第2回	竿燈まつりの練習1(短大体育館)	第18回	竿燈まつりの公式練習2(短大体育館前)	
第3回	竿燈まつりの練習2(短大体育館)	第19回	竿燈まつりの公式練習3(短大体育館前)	
第4回	竿燈まつりの練習3(短大体育館)	第20回	竿燈まつりの公式練習4(短大体育館前)	
第5回	竿燈まつりの練習4(短大体育館)	第21回	竿燈まつりの公式練習5(短大体育館前)	
第6回	竿燈まつりの練習5(短大体育館)	第22回	竿燈まつりの公式練習6(短大体育館前)	
第7回	竿燈まつりの練習6(短大体育館)	第23回	竿燈まつりの公式練習7(短大体育館前)	
第8回	ねぶり流し館の見学	第24回	竿燈まつり本番前の準備作業	
第9回	竿燈まつりの練習8(短大体育館)	第25回	竿燈まつりへの参加1-1	
第10回	竿燈まつりの練習9(短大体育館)	第26回	竿燈まつりへの参加1-2	
第11回	竿燈まつりの練習10(短大体育館)	第27回	竿燈まつりへの参加1-3	
第12回	竿燈まつりの練習11(短大体育館)	第28回	竿燈まつりへの参加2-1	
第13回	竿燈まつりの練習12(短大体育館)	第29回	竿燈まつりへの参加2-2	
第14回	竿燈まつりの練習13(短大体育館)	第30回	竿燈まつりへの参加2-3	
第15回	竿燈まつりの練習14(短大体育館)	第31回	竿燈まつりへ本番後片付け作業	
第16回	実技試験			

授業時間外の学習	授業以外にも自主練習、本番が近くなれば公式練習があります。また、演技の上達みならず全体の調和が重要です。積極的に参加してください。
履修条件 受講のルール	全くの初心者の人でも基本から指導しますので興味があつたらぜひ履修してください。 科目の性質上、上達するには授業時間外での練習が必要になることがあります。 上達の状況や整容、参加態度によっては、竿燈まつり本番に参加できないことがあります。
テキスト	授業時に適宜資料を配布します。(特定のテキストは使用しません)
参考文献・資料	秋田市竿燈会「竿燈ができるまで一竹の準備、親竹、横竹、継竹のつくり方、竿の組み立て方」
成績評価の方法	①竿燈まつりへの参加(40%) ②実技試験(30%) ③取組姿勢(30%) ※竿燈会への貢献度や活動に対する意欲を総合的に評価します。 ※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、期末試験を受けることができません。
オフィスアワー	井上：毎週月曜日 2 時限(10:40～12:10) と毎週金曜日 3 時限(13:00～14:30)
成績評価基準	平成 28(2016)年度以降入学した学生 秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下) 平成 27(2015)年度以前に入学した学生 優(100～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
学生への メッセージ	秋田といえば「竿燈」というくらい全国的に有名なまつりに参加するための授業です。お客様に見(魅)せるわけですから上手に演技するための特訓は欠かせません。そしてまつりの意義を理解した上で、「魂」を吹き込んだ演技をできるように一緒にがんばりましょう。